



[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-45/2024年2月3日
[技術の名称]	アラミド繊維シートを用いた木造軸組の主要接合部(柱・梁・基礎) 補強工法「J BRA-1工法」 <small>ジャブラワン</small>
[依頼者(審査証明取得者)]	ジェイ建築システム株式会社

[技術概要]

既存住宅において、地震時などの水平力に伴う柱の引き抜きを防止するアラミド繊維シートを用いた補強接合法である。本工法は、従来の様に柱、土台に面倒で特殊な加工を不要とし、面状のテープ形態のシートを柱、土台、あるいは基礎に接着し、簡単に施工が可能で品質を確保されるようマニュアル化された工法技術である。

[開発の趣旨]

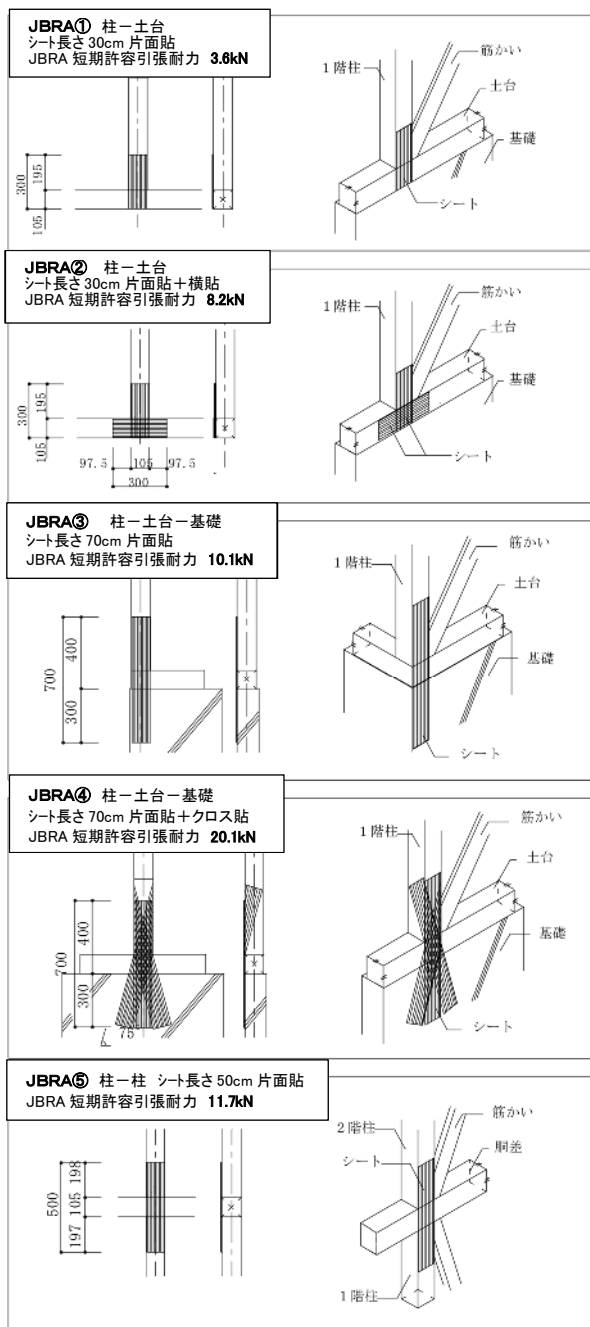
既存住宅において、引抜力が生じる柱脚柱頭の接合部に従来の金物を設置しようとした場合、ホールダウン金物は施工上、難しい場合が多い。そこで、高引張強度のアラミド繊維シートと、専用接着剤を併用した接合方法を開発する。

[開発目標および審査証明結果]

本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 柱と土台(基礎)、柱と柱との接合部の緊結が簡単に施工できるように施工手順や注意事項等がマニュアルとして明記され、施工のための教育体制がとられていると判断される。
- (2) 柱と土台の接合で、シート長さ30cm片面貼のJ BRA短期許容引張耐力^{*}は3.6kN、横貼併用の場合は8.2kNとしてよいと判断される。
- (3) 柱と土台と基礎で、シート長さ70cm(基礎定着30cm)片面貼のJ BRA短期許容引張耐力^{*}は10.1kN、クロス貼併用の場合は20.1kNとしてよいと判断される。
- (4) 柱と柱の接合で、定着長さ20cmの場合のJ BRA短期許容引張耐力^{*}は11.7kNとしてよいと判断される。

※: J BRA短期許容引張耐力とは、N値計算法により求めた柱の引抜力に対応する接合部の設計耐力をいう。



[本技術の問い合わせ先]

ジェイ建築システム株式会社 技術部 山下
TEL : 011-573-7779
FAX : 011-573-7811
技術紹介サイト
<http://www.j-kenchiku.co.jp>